

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 95

千葉県立成東高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校の教育方針を理解し、学業及び部活動・生徒会活動等に努力する意欲を強く持つ者

2 選抜資料

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点
(2)調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3)学校設定検査（面接）	受検者6名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分

3 評価項目及び評価基準

(1)学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2)調査書〔165点満点〕

アの数値に、ウについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席の合計が30日以上または第3学年の欠席が10日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動等で特に積極的に取り組んだと認められ、入学後も活躍できると期待される記述については加点する。 検定については、実用英語技能検定準2級以上を加点する。
エ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3)面接〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（満たしている）・b（問題がある）の2段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～b b）で得点化する。評価が全てbの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 動機・適性	志願の動機が明確で、本校の普通科における「期待する生徒像」に合致している。
イ 関心・意欲	多様な方面に関心を抱き、豊かな趣味・特技を有している。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答・身だしなみや態度	質問を的確に受け止め、自分の考えをはつきり表現している。 服装や頭髪が整っており、素直な態度で応対している。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点A」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

(ア) 受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の80パーセント

(イ) 受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の80パーセント

<ア：総得点Aの満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点 面接	総得点A
	評定 (K=1)	加点		
500点	135点	30点	30点	695点

イ 上記アで決まらなかった者及び理数科の1段階目で決まらなかった者のうち本学科を第2希望としている者については、「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」に本校の定める係数 ($k1 = 1$, $k2 = 1$, $k3 = 1$, $k4 = 1.5$) を乗じて算出した得点を全て合計した「総得点B」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、理数科の2段階目の選抜と並行して募集人員の20パーセントまでを入学許可候補者とする。その際、本学科・理数科ともに入学許可候補者となる可能性のある場合は、第1希望の学科での入学許可候補者とする。

なお、ここまで選抜で募集人員に満たない場合は、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<イ：総得点Bの満点の内訳>

学力検査の得点 (k4=1.5)	調査書の得点		学校設定検査の得点 面接 (k3=1)	総得点B
	評定(K=1, k1=1)	加点(k2=1)		
750点	135点	30点	30点	945点

※ $k1$: アの「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値」に乗じる係数

※ $k2$: アの「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数

※ $k3$: アの「学校設定検査の得点」に乗じる係数

※ $k4$: アの「学力検査の得点」に乗じる係数

※ 学力検査の得点については、3(1)の学力検査の得点に $k4$ を乗じる。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。